

## 第2回「北海道 Society5.0 懇談会」 開催概要

- 1 日時 令和元年12月13日(金) 13:30～15:30
- 2 場所 札幌ガーデンパレス 2階 孔雀の間
- 3 出席者 別添「出席者名簿」のとおり
- 4 議題 別添「次第」のとおり
- 5 議事

○ 議事1 「道内の ICT を活用した様々な取組」について

・事務局(北海道)から説明(資料1)

○ 議事2 「国の取組状況等」について

・農林水産省北海道農政事務所生産経営産業部長 佐藤 京子氏から  
「スマート農業の展開」について説明(資料2)  
・経済産業省北海道経済産業局地域経済部製造・情報産業課参事官 小塚 隆氏から  
「地域産業の生産性革命の推進に向けた取組み」について説明(資料3)  
・国土交通省北海道運輸局交通政策部計画調整官 樋口 康弘氏から  
「北海道における交通ネットワークの確保」について説明(資料4)

○ 議事3 ICTを活用した北海道の未来社会に関するプレゼンテーション

・入澤委員から「地域課題の解決に向けた道内IT企業の取組みと目指す姿」について説明(資料5)  
・小林委員から「地方創生の取組みとニュービジネス」について説明(資料6)  
・渡邊委員から「スマートシティ実現に向けた札幌市の取組と目指す姿」について説明(資料7)  
・黄瀬委員から「岩見沢市における Society5.0 に向けた取組み」について説明(資料8)

○ 議事4 「Society5.0に関する道経連の検討内容」について

・北海道経済連合会産業振興グループ部長 本間 敬啓氏から説明(資料9)

○ 議事5 「意見交換の進め方」について

・事務局(北海道)から説明(資料10)

○ 議事6 意見交換

【主な意見】

1 農業を含めた一次産業

- ・水産業の観点も入れていただきたい。
- ・4大学とIT企業をつなぐ技術を活かしていく環境を作っていただきたい。

2 北海道の製造業などの地域産業

- ・製造業とIT企業の両方がレベルアップして、道内企業から調達できる環境を作らなければならない
- ・LEDは商店から普及した。Society5.0も商業者から市民生活の中に生活のベースとして享受できることをイメージしないとイケない。
- ・研究開発的に見えるが、北海道で全部作ることは無理で、北海道でできるサービスを率先してできるようにすることが重要。
- ・Society5.0では効果が見えるもので、農業も作業ではなく新しい作物が出来たなど、見える形になると分かりやすい。

3 地域、地方創生、まちづくり

- ・まちづくりの基盤は家庭であり、これから高齢者が増えていく中で、医療や福祉のまちづくりを作っていくことも必要である。
- ・高齢化の問題をICTで備える議論を深めていくことが必要である。また人口減少の中で教育に関する対策に地域色を出すことも大事である。
- ・災害時に外国人が困ったことは情報がないこと。地元だけではなく外からの人も安心できる情報発信が必要。
- ・災害時は被災地の中に情報を送り込むことが必要で、自動的にリアルタイムで情報処理することが Society5.0につながる。

4 「北海道 Society5.0 構想」の構成(イメージ)について

- ・手段と目的があると思うが、手段を書くのではなく目的をしっかりと議論していきたい。目的についてはSDGsの観点を入れてほしい。

○ 議事7 今後の進め方について

・事務局(北海道)から説明(資料11～12)